

# 2016年12月期 通期決算

**AGC**

**AGC 旭硝子**

■ 2016年12月期 通期決算	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.4
2. セグメント別・地域別の状況	P.20
■ 2017年 通期業績の見通し	P.32
付属資料	P.39

# 2016年12月期 通期決算

# 1. 業績のポイントと主要項目

**売上高**            **12,826億円**            (前期比 437億円の減収)

**営業利益**            **963億円**            (同 251億円の増益)

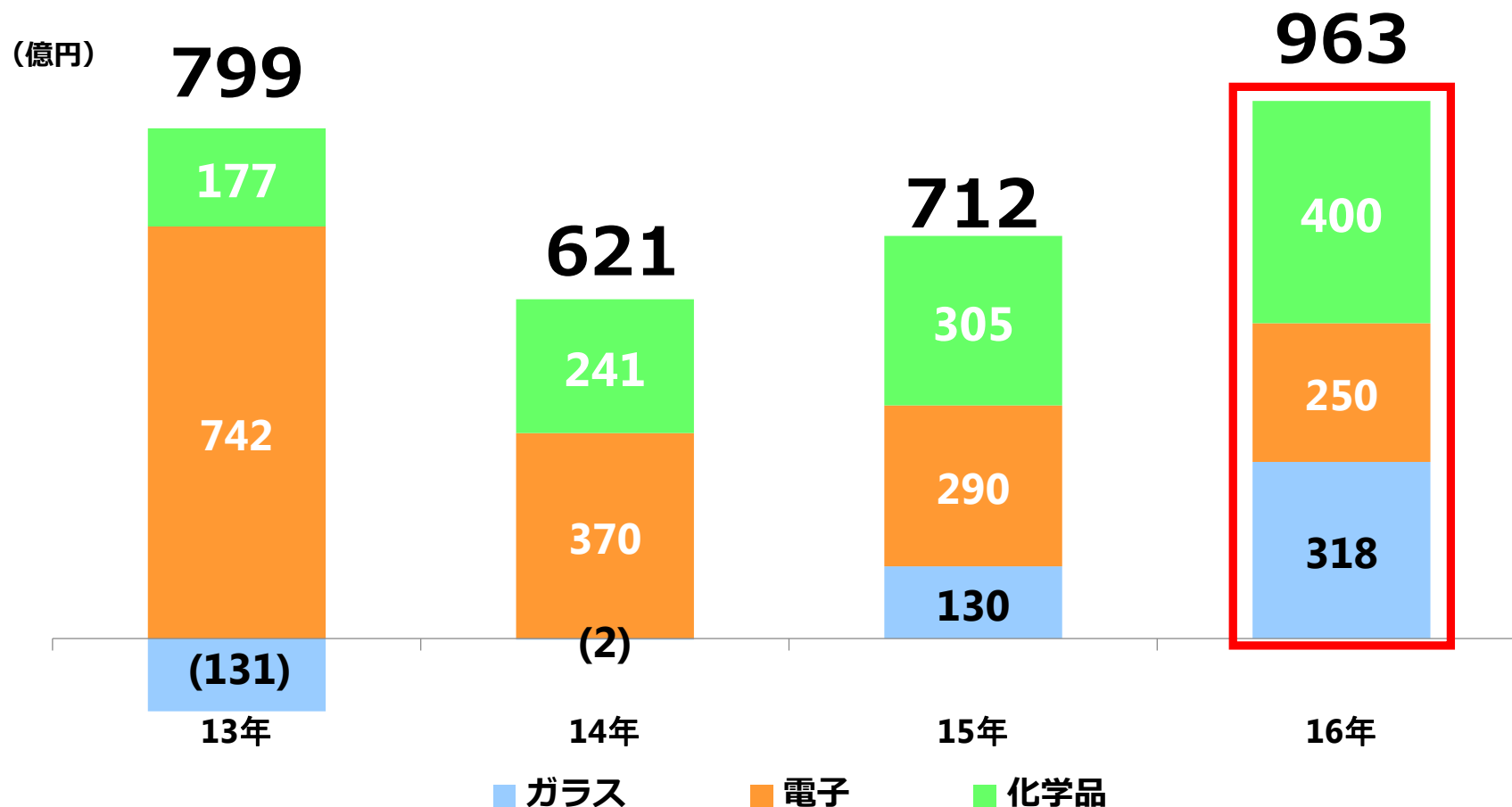
親会社の所有者に帰属する

**当期純利益**            **474億円**            (同 45億円の増益)

- ✓ 円高等の影響を受け減収
- ✓ ①化学品、自動車用ガラスの数量増  
②建築用ガラスの価格上昇  
③原燃材料価格下落等のコストダウン  
等により営業利益は増益
- ✓ 前期に計上した退職後給付制度改定益が今期は発生しなかったものの、法人所得税費用の減少等により親会社の所有者に帰属する当期純利益は増益

## 【セグメント別営業利益推移】

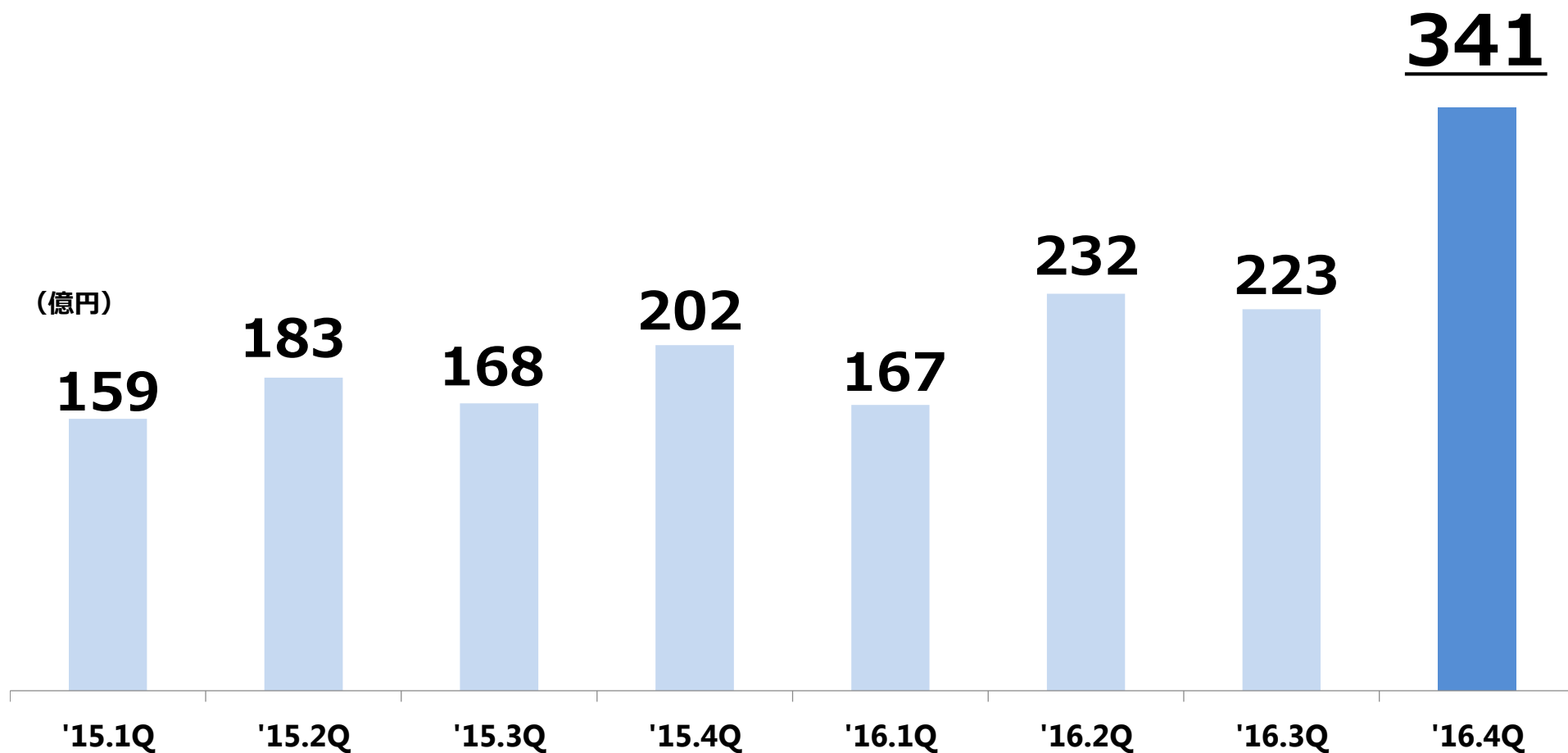
◆ バランスのとれた利益構造を実現



※セラミックス・その他、および消去の数値を除いたグラフの為、各セグメントの合計値は営業利益の合計と一致しません。

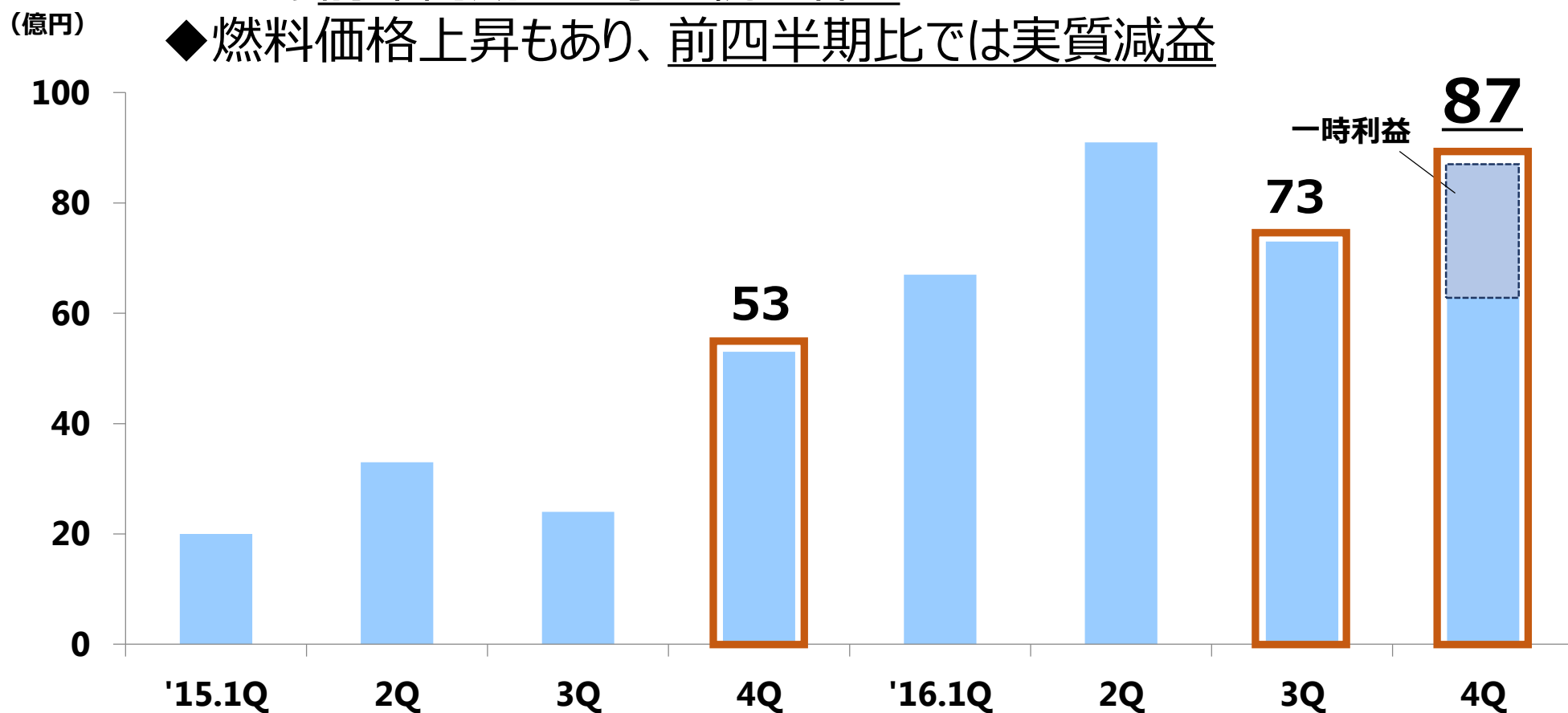
## 【四半期営業利益推移】

◆前四半期比・前年同期比で大幅増益を達成



## 【ガラスセグメント 営業利益推移】

- ◆自動車用ガラス出荷数量増加、欧州建築用ガラスの値上げにより前年同期比で引き続き増益
- ◆燃料価格上昇もあり、前四半期比では実質減益



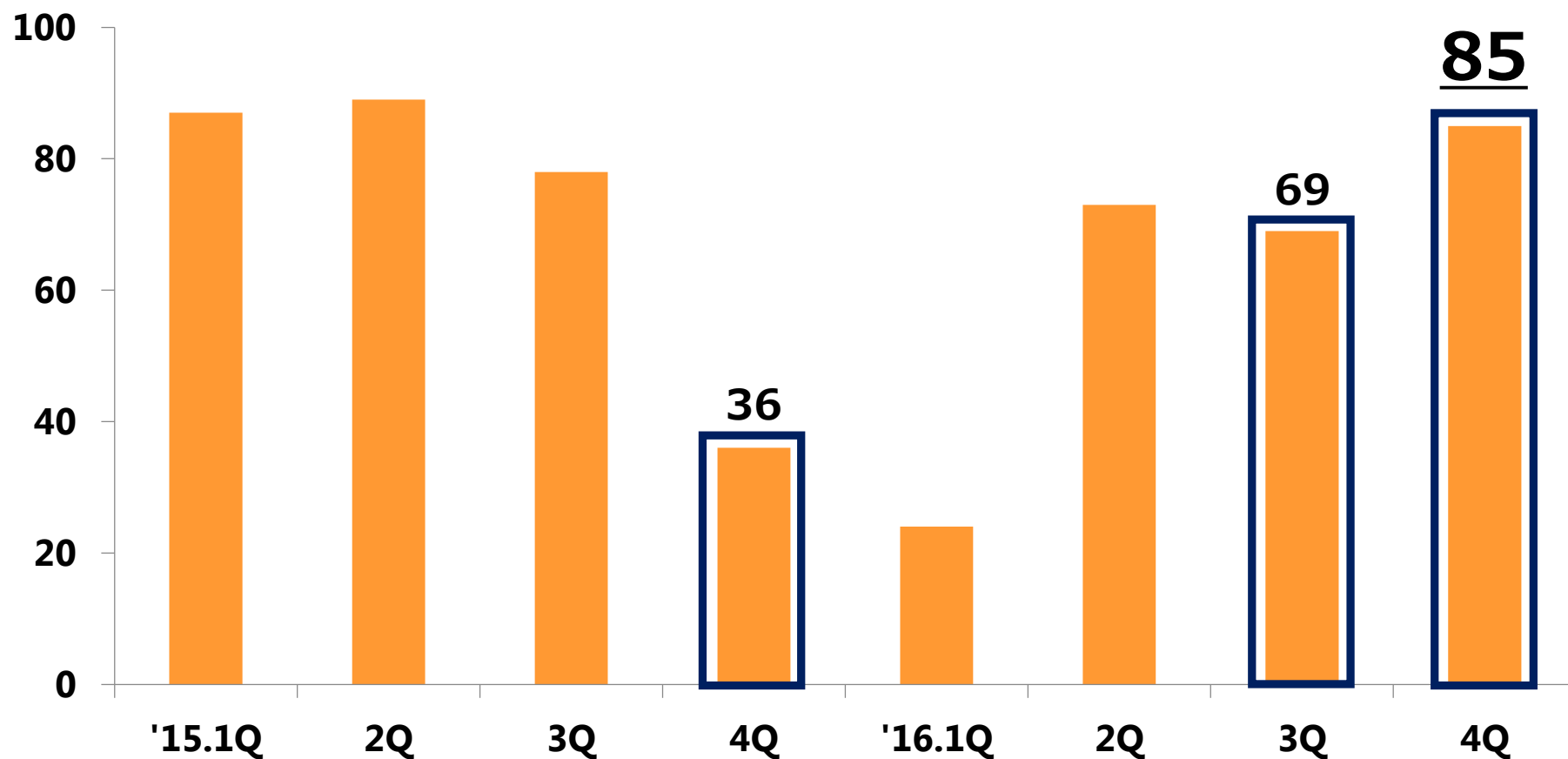


## 【電子セグメント 営業利益推移】

◆ 出荷数量増加、コストダウンにより前年同期比で増益

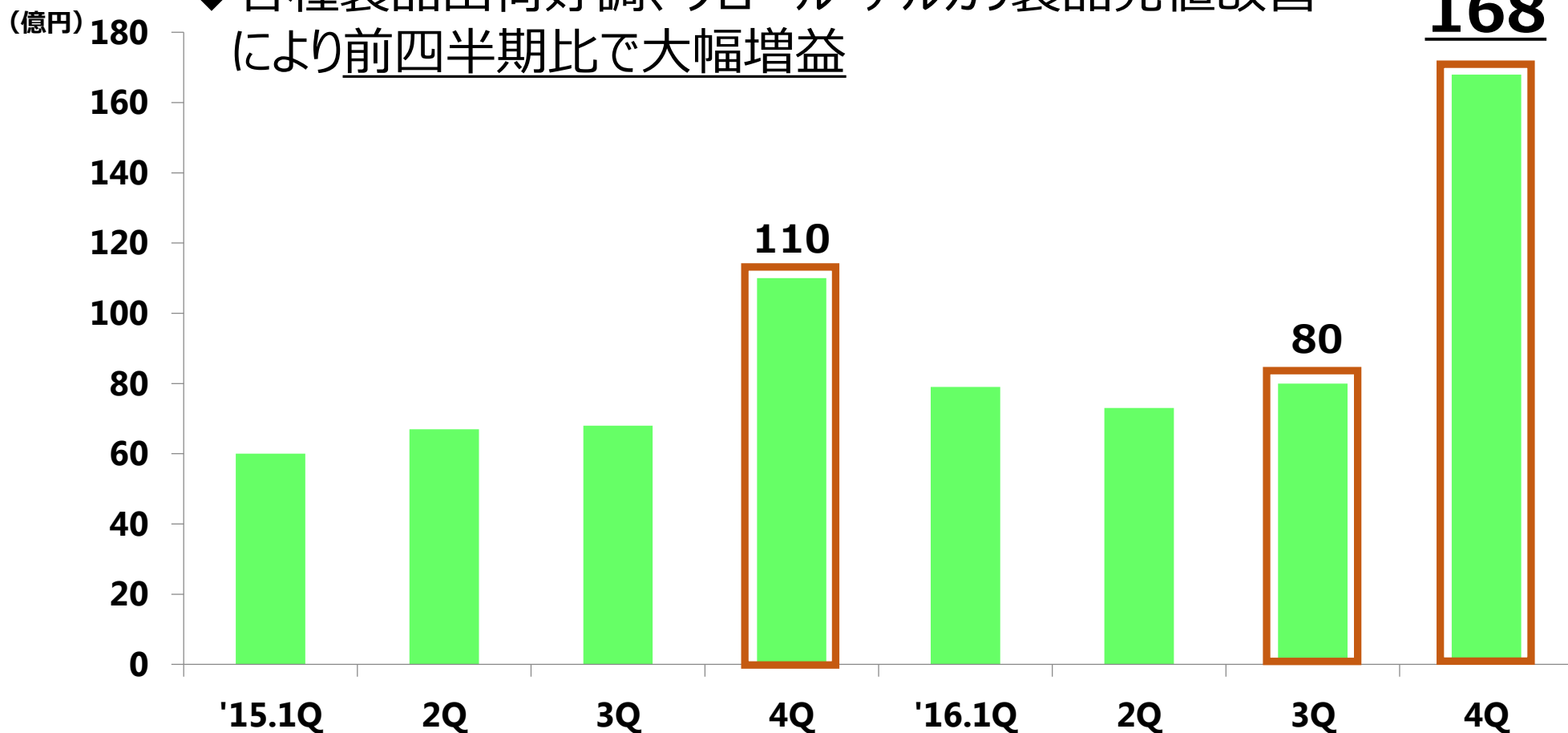
◆ 電子部材の出荷量増加により前四半期比で増益

(億円)



## 【化学品セグメント 営業利益推移】

- ◆ 東南アジアでの増設の効果が表れ前年同期比で増益
- ◆ 各種製品出荷好調、クロール・アルカリ製品売値改善により前四半期比で大幅増益



# 2016年12月期 通期業績の主要項目

AGC

(億円)

		FY2015	FY2016	増減	増減%
売上高		13,263	<b>12,826</b>	-437	-3.3%
営業利益		712	<b>963</b>	+251	+35.3%
税引前利益		845	<b>676</b>	-170	-20.1%
親会社の所有者に 帰属する当期純利益		429	<b>474</b>	+45	+10.6%
一株当たり配当金 (円)		18	<b>18</b>		
営業利益率		5.4%	<b>7.5%</b>		
ROE		3.9%	<b>4.3%</b>		
為替レート(期中平均)	JPY/USD	121.05	<b>108.84</b>		
	JPY/EUR	134.31	<b>120.33</b>		
原油	\$/BBL(Dubai)	50.9	<b>41.5</b>		

# 連結純損益計算書

AGC

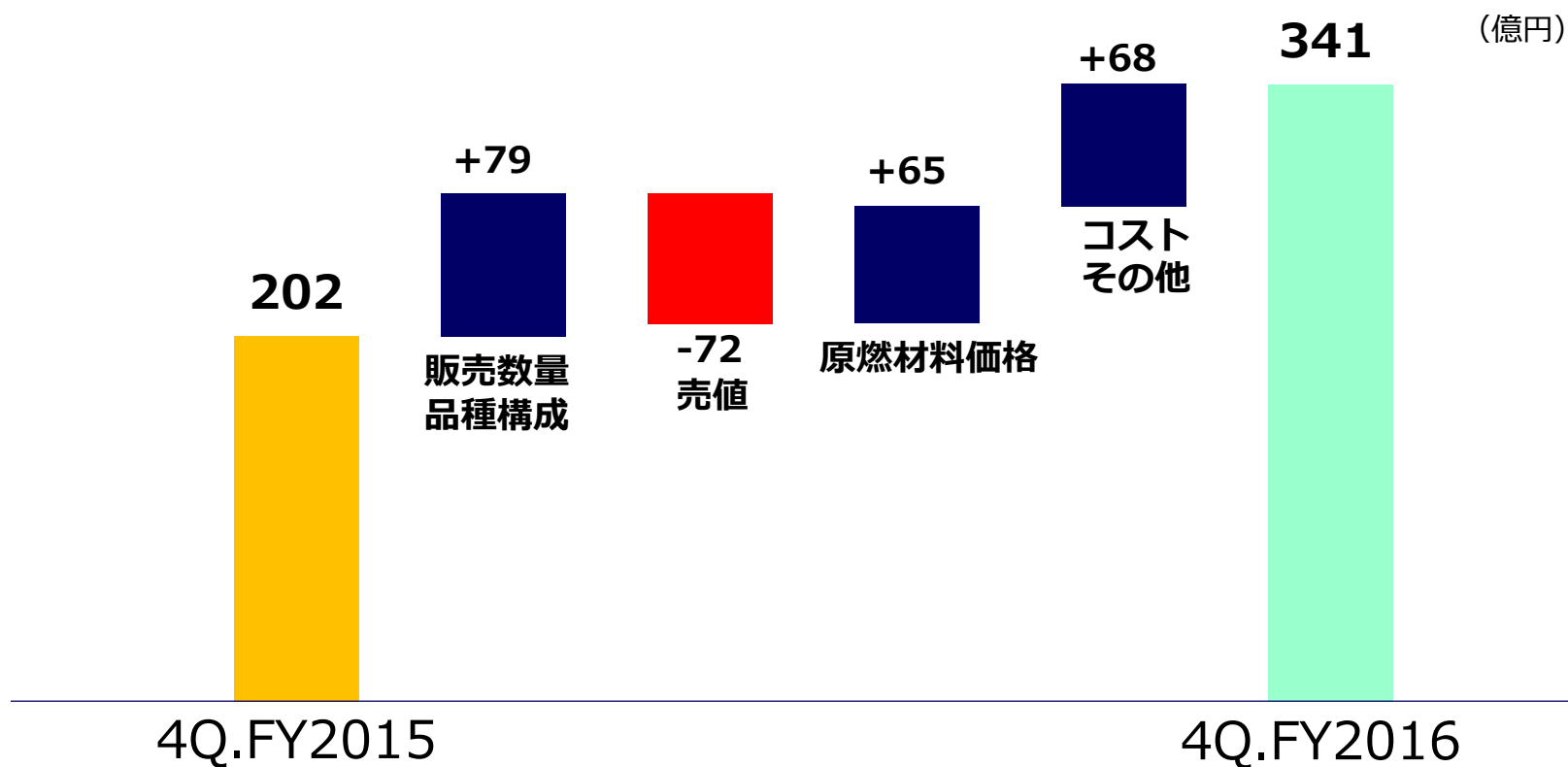
	4Q			通期		
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減
売上高	3,367	<b>3,427</b>	+60*	13,263	<b>12,826</b>	-437*
営業利益	202	<b>341</b>	+140	712	<b>963</b>	+251
その他収支	-58	<b>-146</b>		148	<b>-275</b>	
事業利益	143	<b>196</b>	+52	859	<b>688</b>	-171
金融収支	-1	<b>8</b>		-14	<b>-13</b>	
税引前利益	143	<b>204</b>	+61	845	<b>676</b>	-170
法人税等	126	<b>37</b>		382	<b>142</b>	
当期純利益	17	<b>167</b>	+150	463	<b>534</b>	+71
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	2	<b>145</b>	+144	429	<b>474</b>	+45
非支配持分に 帰属する当期純利益	15	<b>22</b>		34	<b>59</b>	

\* うち、為替差影響は、4Q 売上高 -245億円、通期 売上高 -978億円

# 営業利益増減要因分析(4Q.FY2016 vs. 4Q.FY2015)

AGC

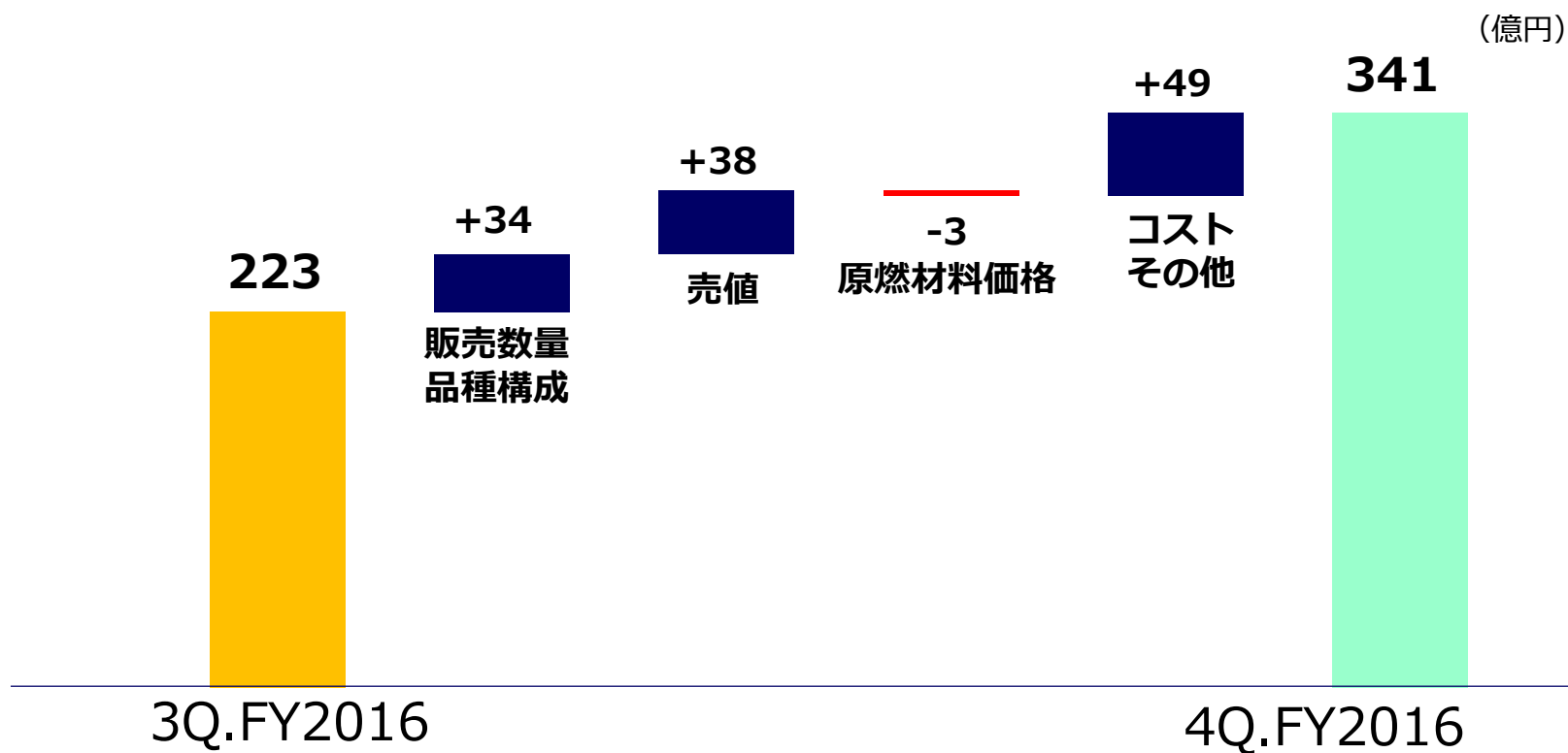
前年同期比 140 億円増益



# 営業利益増減要因分析(4Q.FY2016 vs. 3Q.FY2016)

AGC

前四半期比 119 億円増益

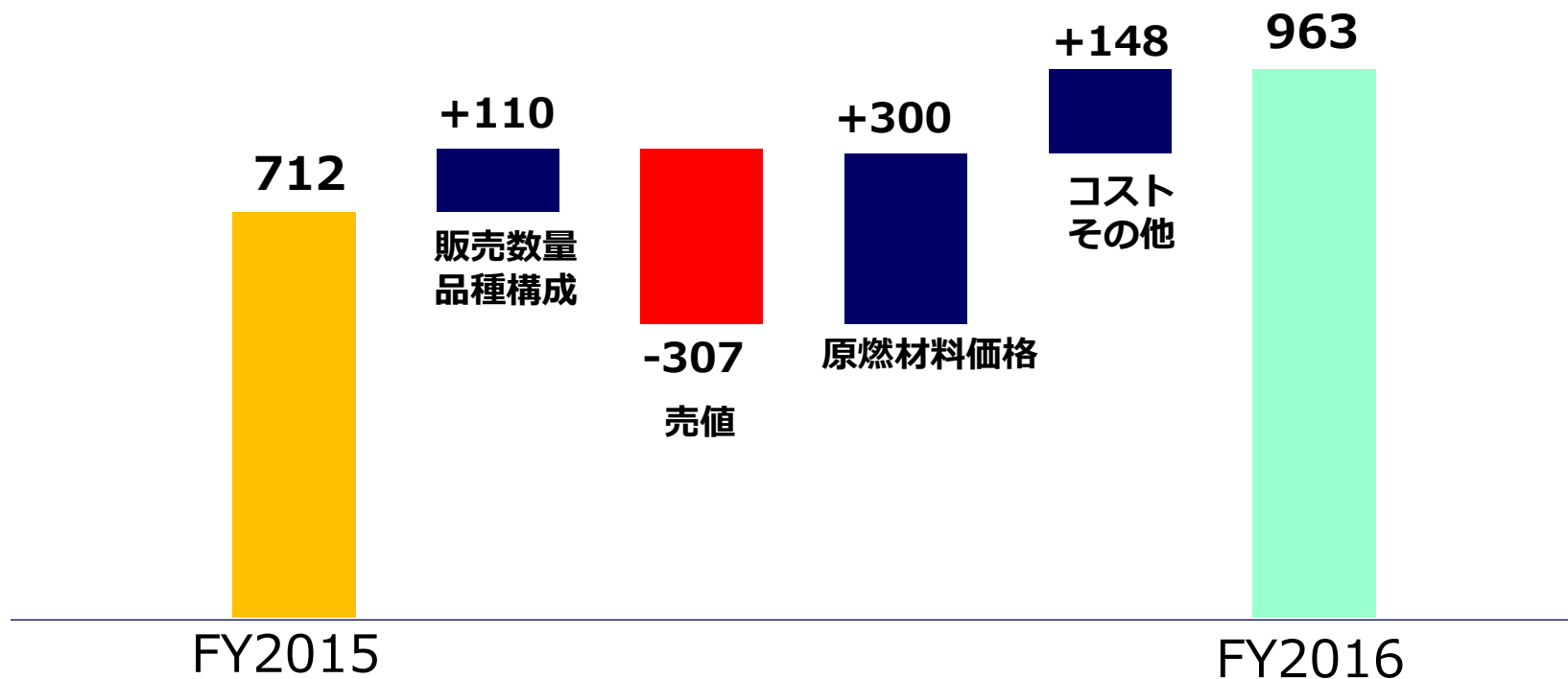


# 営業利益増減要因分析(FY2016 vs. FY2015)

AGC

前期比 251億円増益

(億円)



# 連結財政状態計算書

AGC

	FY2015	FY2016	増減
現金及び現金同等物	1,048	<b>1,473</b>	+425
棚卸資産	2,354	<b>2,273</b>	-81
有形固定資産・無形 資産及びのれん	10,440	<b>10,001</b>	-439
その他	6,071	<b>6,067</b>	-4
<b>資産合計</b>	19,913	<b>19,815</b>	-98*
有利子負債	4,687	<b>4,340</b>	-348
その他	3,588	<b>3,787</b>	+200
<b>負債の部</b>	8,275	<b>8,127</b>	-148
親会社の所有者に 帰属する持分合計	10,942	<b>10,954</b>	+13
非支配持分	696	<b>733</b>	+37
<b>資本の部</b>	11,638	<b>11,687</b>	+50
<b>負債及び資本合計</b>	19,913	<b>19,815</b>	-98*
<b>D/E比率</b>	0.40	<b>0.37</b>	

\* うち、為替差影響は、-456億円



# 連結キャッシュフロー計算書

AGC

(億円)

	FY2015	FY2016
税引前利益	845	<b>676</b>
減価償却費及び償却費	1,374	<b>1,218</b>
運転資金増減	110	<b>121</b>
その他	-457	<b>22</b>
<b>営業活動によるCF</b>	<b>1,872</b>	<b>2,036</b>
<b>投資活動によるCF</b>	<b>-1,160</b>	<b>-1,136</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>712</b>	<b>900</b>
有利子負債増減	-151	<b>-238</b>
支払配当	-208	<b>-208</b>
その他	5	<b>-18</b>
<b>財務活動によるCF</b>	<b>-354</b>	<b>-465</b>
<b>現金等に係る換算差額</b>	<b>-6</b>	<b>-11</b>
<b>現金等の増加額</b>	<b>352</b>	<b>425</b>

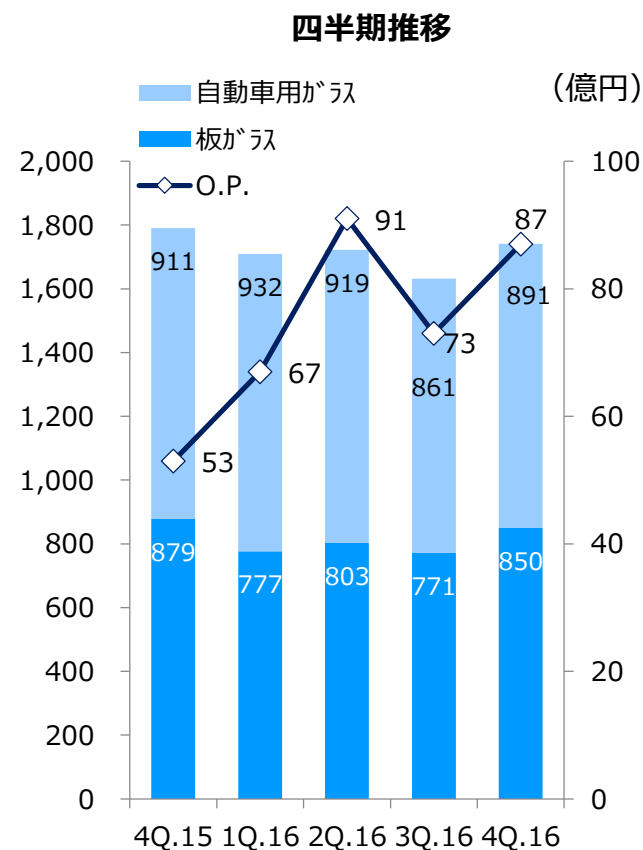
	FY2015	FY2016
	(億円)	
<b>設備投資額</b>	<b>1,251</b>	<b>1,260</b>
ガラス	423	<b>503</b>
電子	294	<b>429</b>
化学品	527	<b>324</b>
セラミックス・その他	8	<b>5</b>
<b>減価償却費</b>	<b>1,374</b>	<b>1,218</b>
ガラス	483	<b>426</b>
電子	647	<b>557</b>
化学品	220	<b>215</b>
セラミックス・その他	25	<b>22</b>
消去	-1	<b>-1</b>
<b>研究開発費</b>	<b>389</b>	<b>392</b>

**BLANK PAGE**

## 2. セグメント別・地域別の状況

# ガラス セグメント (1)

	4Q			通期		
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減
売上高	1,781	<b>1,734</b>	-47	6,929	<b>6,800</b>	-129
営業利益	53	<b>87</b>	+33	130	<b>318</b>	+188
売上高の内訳		小計	日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	消去
ガラス	4Q	1,734	797	286	686	-34
	通期	6,800	2,972	1,193	2,782	-147
板ガラス	4Q	850	335	108	428	-20
	通期	3,201	1,181	441	1,687	-108
自動車用ガラス	4Q	891	468	178	258	-13
	通期	3,602	1,797	752	1,094	-41
セグメント内調整	4Q	-7	-6	0	0	-2
	通期	-3	-6	0	0	2



## 【通期 前年対比】

### 〔建築用ガラス〕

- 日本・アジア：前年同期並み
- 北米：出荷は堅調
- ヨーロッパ：出荷は堅調
- ヨーロッパ及び北米を中心に販売価格は前年を上回るレベル

### 〔自動車用ガラス〕

- 欧州、中国、北米で自動車生産台数が増加したことから、当社グループの出荷も増加

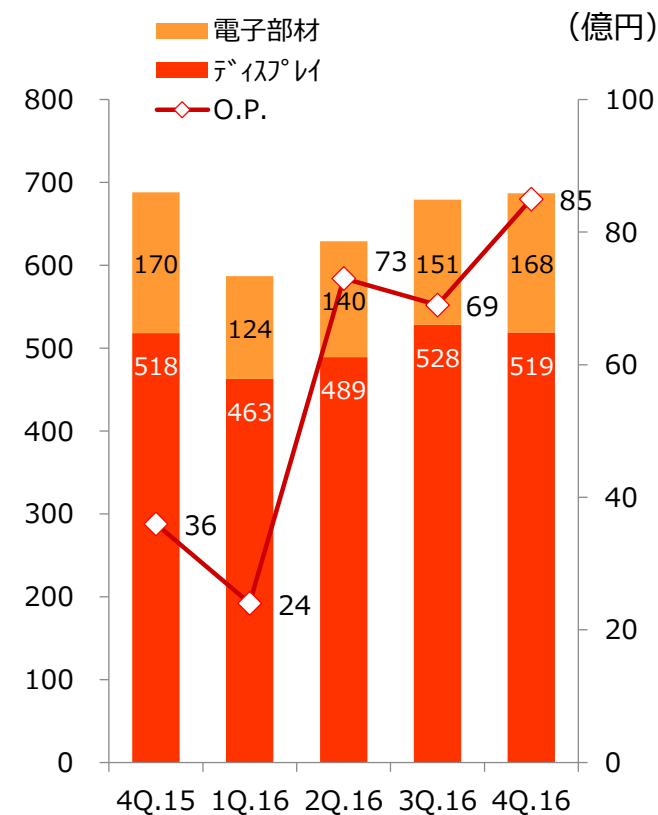
# 電子セグメント (1)

	4Q			通期		
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減
売上高	687	<b>687</b>	-0	2,886	<b>2,581</b>	-304
営業利益	36	<b>85</b>	+48	290	<b>250</b>	-41

## 売上高の内訳

ディスプレイ	4Q	519
	通期	1,999
電子部材	4Q	168
	通期	583

### 四半期推移



## 【通期 前年対比】

### 〔ディスプレイ〕

- 液晶用ガラス基板：販売価格は下落も、出荷が増加。
- ディスプレイ用特殊ガラス：出荷が減少
- 車載ディスプレイ用カバーガラス：出荷が拡大
- ソーラー用ガラス：出荷が減少

### 〔電子部材〕

- オプトエレクトロニクス用部材の出荷が期後半から回復するものの、通期では前期比減少

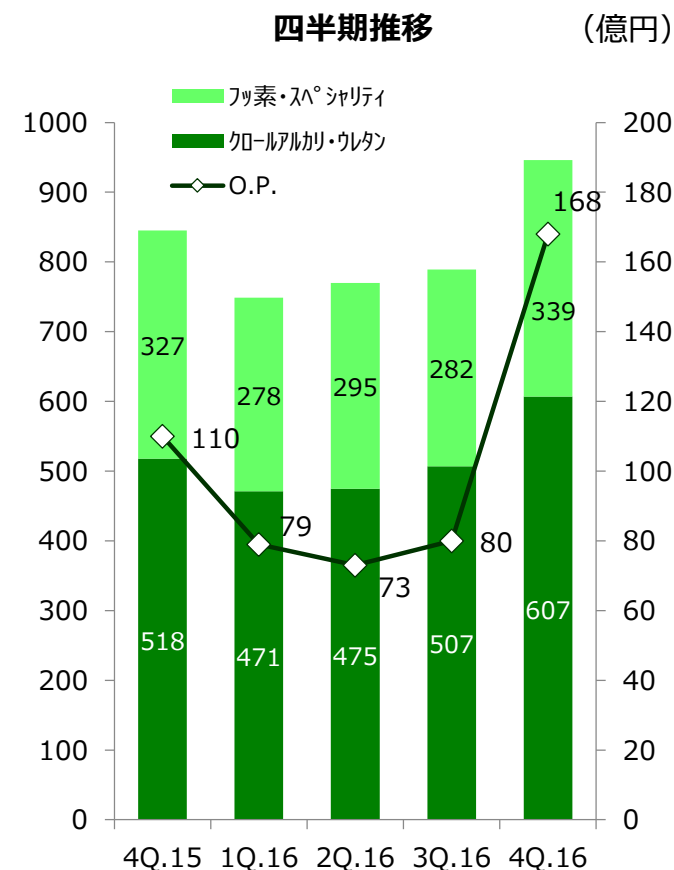


# 化学品 セグメント (1)

	4Q			通期		
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減
売上高	820	<b>924</b>	<b>+104</b>	3,185	<b>3,166</b>	<b>-19</b>
営業利益	110	<b>168</b>	<b>+58</b>	305	<b>400</b>	<b>+95</b>

## 売上高の内訳

クロールアルカリ・ウレタン	4Q	607
	通期	2,060
フッ素・スペシャリティ	4Q	339
	通期	1,193
消去	4Q	-22
	通期	-87



## 【通期 前年対比】

〔クロールアルカリ・ウレタン〕

- 東南アジアでの出荷が堅調に推移し、インドネシアの新規設備が稼働したことにより増収

〔フッ素・スペシャリティ〕

- 一部製品で出荷減少し、また円高もあり減収

# セグメント別業績 前年同期比較

AGC

	4Q			通期			(億円)
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減	
<b>売上高</b>	3,367	<b>3,427</b>	+60	13,263	<b>12,826</b>	-437	
ガラス	1,781	<b>1,734</b>	-47	6,929	<b>6,800</b>	-129	
電子	687	<b>687</b>	0	2,886	<b>2,581</b>	-304	
化学品	820	<b>924</b>	+104	3,185	<b>3,166</b>	-19	
セラミックス・その他	204	<b>193</b>	-11	681	<b>708</b>	+26	
消去	-125	<b>-111</b>	+14	-418	<b>-429</b>	-12	
<b>営業利益</b>	202	<b>341</b>	+140	712	<b>963</b>	+251	
ガラス	53	<b>87</b>	+33	130	<b>318</b>	+188	
電子	36	<b>85</b>	+48	290	<b>250</b>	-41	
化学品	110	<b>168</b>	+58	305	<b>400</b>	+95	
セラミックス・その他	3	<b>3</b>	0	-16	<b>-2</b>	+13	
消去	-1	<b>-1</b>	-1	1	<b>-3</b>	-4	

# セグメント別業績 前四半期比較

AGC

(億円)

	3Q. FY2016	4Q. FY2016	増減	増減%
<b>売上高</b>	3,150	<b>3,427</b>	+277	+8.8%
ガラス	1,635	<b>1,734</b>	+99	+6.0%
電子	678	<b>687</b>	+9	+1.3%
化学品	770	<b>924</b>	+153	+19.9%
セラミックス・その他	166	<b>193</b>	+27	+16.3%
消去	-100	<b>-111</b>	-11	-
<b>営業利益</b>	223	<b>341</b>	+119	+53.3%
ガラス	73	<b>87</b>	+13	+18.0%
電子	69	<b>85</b>	+16	+23.6%
化学品	80	<b>168</b>	+88	+110.0%
セラミックス・その他	1	<b>3</b>	+2	+146.4%
消去	-1	<b>-1</b>	-1	-

# 地域別業績 前年同期比較

AGC

	4Q			通期			(億円)
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減	
<b>売上高</b>	3,367	<b>3,427</b>	+60	13,263	<b>12,826</b>	-437	
日本・アジア	2,350	<b>2,447</b>	+97	9,163	<b>8,816</b>	-348	
アメリカ	371	<b>358</b>	-13	1,548	<b>1,462</b>	-86	
ヨーロッパ	755	<b>724</b>	-31	3,018	<b>2,919</b>	-99	
消去	-109	<b>-102</b>	+7	-467	<b>-371</b>	+96	
<b>営業利益</b>	202	<b>341</b>	+140	712	<b>963</b>	+251	
日本・アジア	258	<b>376</b>	+118	980	<b>1,105</b>	+125	
アメリカ	14	<b>38</b>	+24	45	<b>64</b>	+18	
ヨーロッパ	3	<b>12</b>	+9	-18	<b>89</b>	+107	
消去	-1	<b>-1</b>	0	-5	<b>2</b>	+7	
地域共通費用	-72	<b>-83</b>	-11	-290	<b>-297</b>	-7	

# 地域別業績 前四半期比較

AGC

(億円)

	3Q. FY2016	4Q. FY2016	増減	増減%
<b>売上高</b>	3,150	<b>3,427</b>	+277	+8.8%
日本・アジア	2,211	<b>2,447</b>	+236	+10.7%
アメリカ	351	<b>358</b>	+7	+1.9%
ヨーロッパ	672	<b>724</b>	+52	+7.7%
消去	-85	<b>-102</b>	-17	-
<b>営業利益</b>	223	<b>341</b>	+119	+53.3%
日本・アジア	277	<b>376</b>	+100	+36.0%
アメリカ	8	<b>38</b>	+30	+398.0%
ヨーロッパ	17	<b>12</b>	-6	-33.5%
消去	-3	<b>-1</b>	+2	-
地域共通費用	-76	<b>-83</b>	-7	-

# 為替換算・連結範囲変更の影響（前期比較）

AGC

(億円)

売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
FY2016	<b>12,826</b>	<b>6,800</b>	<b>2,581</b>	<b>3,166</b>
前期比	-437	-129	-304	-19
[以下影響を除く前期比]	+446	+479	-252	+191
為替換算の影響	-978	-698	-52	-214
連結範囲変更の影響	+94	+90	-	+4

\*全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しない

# 2017年 通期業績の見通し



**売上高**            **13,500億円**            (前期比 674億円の増収)

**営業利益**            **1,050億円**            (同 87億円の増益)

親会社の所有者に帰属する

**当期純利益**            **660億円**            (同 186億円の増益)

- ✓ 化学品の出荷増により増収
- ✓ 営業利益は、出荷数量増加やコストダウンにより増益
- ✓ その他費用は減少

# 2017年 通期業績見通しの主要項目

AGC

		FY2016	FY2017 予想	増減	増減%
売上高		12,826 (6,249)	<b>13,500</b> <b>(6,500)</b>	+674 (+251)	+5.3% (+4.0%)
営業利益		963 (399)	<b>1,050</b> <b>(450)</b>	+87 (+51)	+9.0% (+12.8%)
税引前利益		676	<b>930</b>	+254	+37.6%
親会社の所有者に 帰属する当期純利益		474	<b>660</b>	+186	+39.1%
一株当たり配当金 (円)		18	<b>20</b>		
営業利益率		7.5%	<b>7.8%</b>		
ROE		4.3%	<b>6.0%</b>		
為替レート(期中平均)	JPY/USD	108.84	<b>110.0</b>		
	JPY/EUR	120.33	<b>120.0</b>		
原油	\$/BBL(Dubai)	41.5	<b>55.0</b>		

\* ( ) 内は上期累計

\* FY2017予想のROEは、  
FY2016末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用

\* FY2017予想の一株当たり配当金は、  
株式併合(17.7.1.実施予定)の考慮前のもの

## 〔建築用ガラス〕

- 出荷は多くの地域で緩やかに増加

## 〔自動車用ガラス〕

- 一部新興国で自動車生産台数の回復に不透明感があるものの、全体としては堅調に推移

## 〔電子〕

- 液晶用ガラス基板：

出荷は増加し、販売価格の下落幅は縮小する見込み

- ディスプレイ用特殊ガラス：出荷は増加

- 車載ディスプレイ用カバーガラス：引き続き拡大

- 電子部材：

オプトエレクトロニクス用部材及び半導体関連製品の  
出荷は堅調に推移

## 〔化学品〕

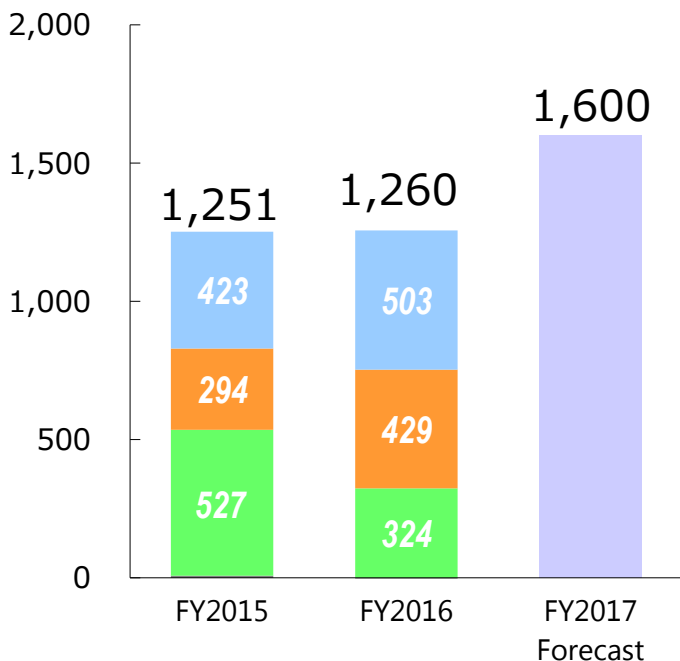
- インドネシア新規設備の通年稼働により、クロールアルカリ製品の出荷が増加
- フッ素関連製品、ライフサイエンス関連製品も堅調に推移
- 16年に買収を決定した企業が新たに連結子会社となり業績に加わる

# 設備投資・減価償却費・研究開発費

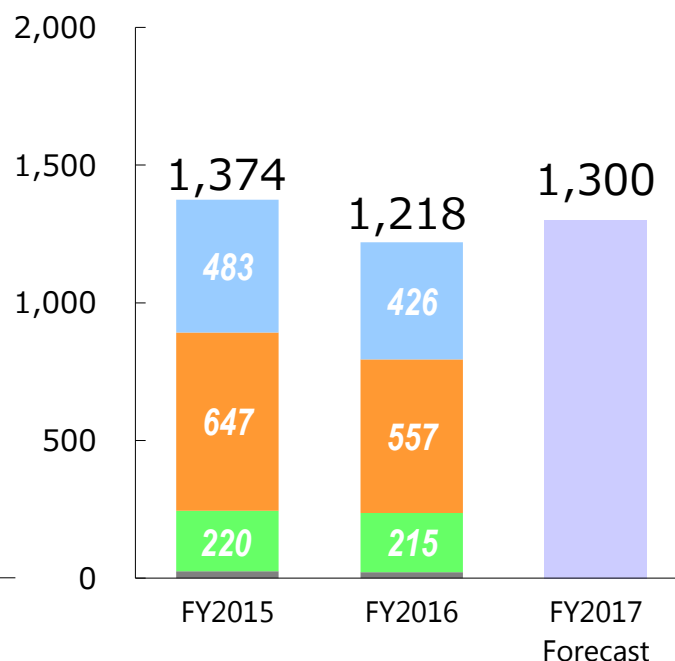
AGC

(億円)

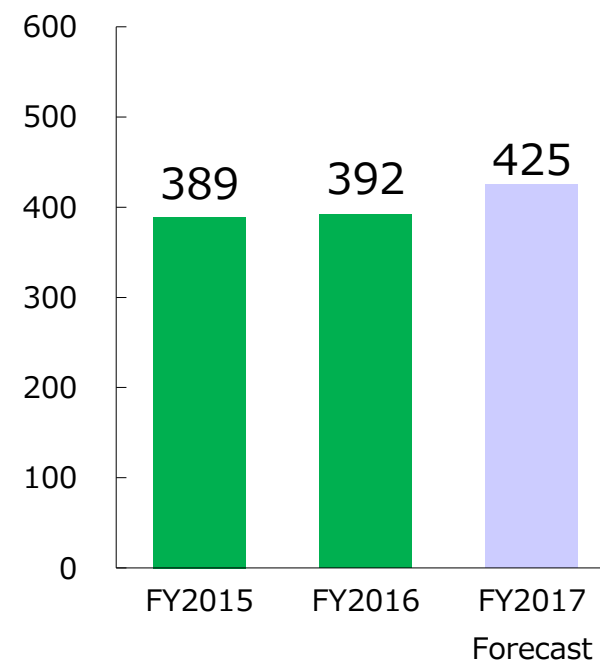
## 設備投資



## 減価償却費



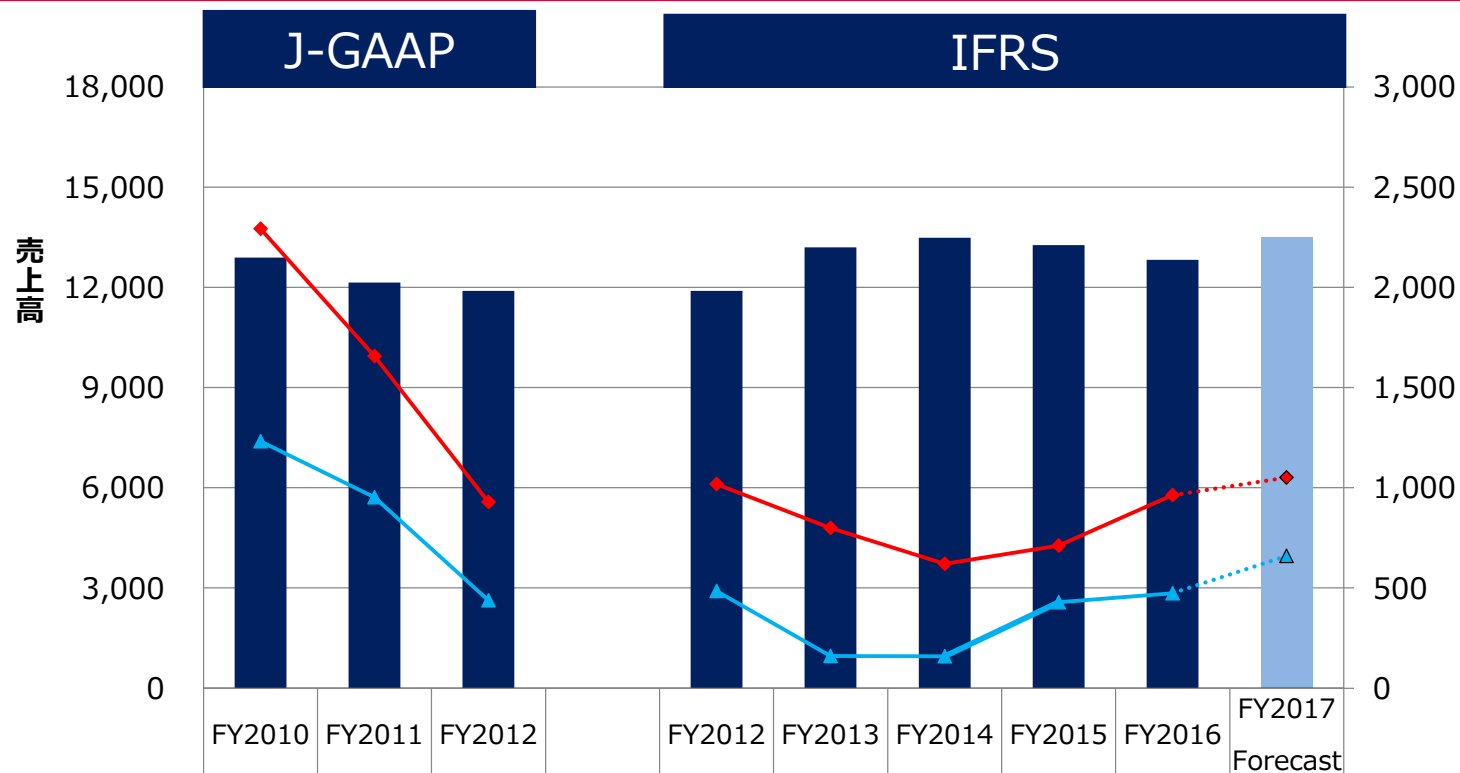
## 研究開発費



■ ガラス ■ 電子 ■ 化学品 ■ セラミックス・その他

# 付属資料

# 通期業績の推移



営業利益・親会社の所有者に帰属する当期純利益

■ 売上高	12,889	12,147	11,900		11,900	13,200	13,483	13,263	12,826	13,500
◆ 営業利益	2,292	1,657	929		1,018	799	621	712	963	1,050
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	1,232	953	438		484	161	159	429	474	660
営業利益率	17.8%	13.6%	7.8%		8.6%	6.1%	4.6%	5.4%	7.5%	7.8%
一株当たり配当金	¥26	¥26	¥26		¥26	¥18	¥18	¥18	¥18	¥20

\* 日本基準では、当期純利益を表示しています。

\*FY2017の一株当たり配当金は、株式併合(17.7.1.実施予定)の考慮前のもの



		J-GAAP					IFRS				
		08/12	09/12	10/12	11/12	12/12	12/12	13/12	14/12	15/12	16/12
自己資本当期純利益率(ROE) <sup>*1</sup>	%	4.7%	2.7%	15.8%	11.8%	5.0%	5.8%	1.6%	1.4%	3.9%	4.3%
総資産営業利益率(ROA) <sup>*2</sup>	%	7.8%	4.8%	12.9%	9.6%	5.2%	5.6%	4.0%	3.0%	3.5%	4.9%
自己資本比率	%	40%	42%	46%	48%	50%	47%	51%	54%	55%	55%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.77	0.74	0.60	0.57	0.54	0.56	0.50	0.42	0.40	0.37
営業CF/有利子負債	倍	0.34	0.30	0.56	0.31	0.31	0.32	0.29	0.27	0.40	0.47
一株当たり当期純利益 (EPS)	円	33.53	17.12	105.52	81.90	37.88	41.90	13.97	13.77	37.12	41.03
EBITDA <sup>*3</sup>	億円	2,199	1,873	3,084	2,594	1,928	2,000	1,866	1,859	2,284	1,604

- \*1 【J-GAAP】 当期純利益/自己資本 (期中平均)  
【IFRS】 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)
- \*2 営業利益/総資産 (期中平均)
- \*3 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2015	FY2016					年間	FY2017
			1Q	2Q	3Q	4Q			
円/ドル	期中平均	121.05	115.48	108.14	102.43	109.30	108.84	110.0 <sup>*4</sup>	
	期末	120.61	112.68	102.91	101.12	116.49	116.49		
円/ユーロ	期中平均	134.31	127.23	122.02	114.28	117.78	120.33	120.0 <sup>*4</sup>	
	期末	131.77	127.70	114.39	113.36	122.70	122.70		

\*4 2017年度の前提

発表日	内容
2月16日	地球温暖化を抑制する冷媒新グレード「AMOLEA®yd」を開発
2月23日	指紋認証用カバーガラスを発売
3月11日	ブラジル第2フロート工場を新設を決定
3月28日	車載ディスプレイ用カバーガラスの供給体制を拡充
5月12日	インドネシアで塩化ビニルモノマー（VCM）の生産能力を追加増強
8月1日	北アフリカへ初進出 モロッコに自動車用ガラス生産拠点を新設を決定
9月6日	ドイツの大手バイオ医薬品製造受託会社（バイオミーバ社）を買収
9月15日	化学強化用特殊ガラスDragontrail® Proを発売
10月31日	HDD 用ガラス基板事業からの全面撤退を決定
12月13日	G11対応TFT液晶用ガラス基板の生産拠点(JV)設置を決定
12月14日	ビニタイ社の株式の取得（子会社化）を決定
12月20日	CMCバイオロジックス社を買収

# 予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は旭硝子株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



## **AGC旭硝子**

〒100-8405

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

新丸の内ビルディング

問い合わせ先：経営企画部 広報・I R室

E-mail : [investor-relations@agc.com](mailto:investor-relations@agc.com)

Tel : +81-(0)3-3218-5096

Fax : +81(0)3-3201-5390

[www.agc.com](http://www.agc.com)